

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年2月6日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年2月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【発電機転倒による燃料油の漏えいについて】 協力企業作業員が小型発電機を軽トラックから下ろす際、誤って転倒させ発電機給油口から燃料油を漏えいした。原因は、油受けに発電機を乗せたまま下ろそうとしたが、油受けが傾き発電機が落下、給油口キャップが外れたもの。周囲に火気はなく、漏えいした燃料油の拭き取り、中和剤処理を行い、側溝への流出はないことを確認。今後、再発防止対策を検討。</p>	G II	2月1日
2	<p>【第二セシウム吸着装置吸着塔(4B)バイパス弁の上流側フランジ部からの漏えいについて】 委託運転員が第二セシウム吸着装置の確認運転時に、吸着塔(4B)バイパス弁の上流側フランジ部から滴下を確認。当該弁には袋養生を設置済みであったため、床面への漏えいなし。第二セシウム吸着装置を停止し、滴下はにじみ程度に減少。なお、他の汚染水処理設備は運転可能であり、汚染水処理に影響なし。今後、当該弁の点検を実施。</p>	G III	2月2日
3	<p>【除染装置用天井クレーンの横行用リミットスイッチの破損について】 協力企業作業員が除染装置(※)用天井クレーンの点検時に、横行用リミットスイッチの破損を確認。当該クレーンについては点検中であり、使用予定がないことから廃炉作業に影響なし。今後、点検中に当該リミットスイッチを交換予定。</p> <p>※除染装置:事故後、汚染水を除染するために使用したAREVA社製の装置。現在は使用していない。</p>	G III	1月30日